

プランクトン検鏡結果のお知らせ

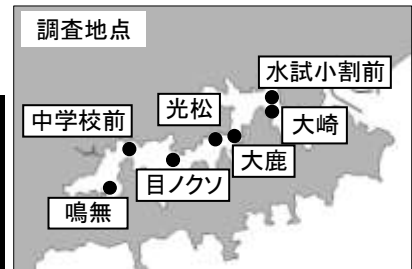
本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で1,525cells/ml、シャットネラ属が最高で14cells/ml、シールドシャットネラ・ベルクローサが最高で11cells/ml、ケラチウム属(C.フルカ+C.フスス)が最高で19cells/ml確認されました。

カレニア・ミキモトイは、鳴無(2m層と5m層)、中学校前(5m層)、目ノクソ(5m層)、光松(5m層)で被害が想定される細胞密度になっています。また、シャットネラ属は鳴無(2m層)で被害が想定される細胞密度になっています。

今後、これらの有害プランクトンが増殖し、0m層まで被害が想定される細胞密度になる可能性があります。十分に注意してください。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ:
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・シールドシャットネラ・ベルクローサ:
500～1,000cells/ml(魚類等のへい死)
- ・ケラチウム属:100cells/ml(餌食いの悪化)

プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	シールドシャットネラ・ベルクローサ	ケラチウム属(C.フルカ、C.フスス)	珪藻類
中学校前	0m	2	0	2	3	4,700
	2m	16	4	2	10	2,700
	5m	1,525	0	0	3	300
目ノクソ	0m	0	0	0	14	250
	2m	6	1	0	11	800
	5m	550	0	1	9	50
光松	0m	0	0	1	16	1,500
	2m	53	2	8	17	500
	5m	520	0	1	12	300
大鹿	0m	25	0	4	13	1,400
	2m	280	1	2	19	700
	5m	210	0	1	11	700
水試小割前	0m	5	0	11	9	120
	2m	9	0	3	4	800
	5m	16	0	1	1	1,400
鳴無	0m	60	2	0	2	2
	2m	775	14	0	4	4
	5m	1,375	1	0	1	1
大崎	0m	15	0	4	14	14
	2m	58	0	2	14	14
	5m	3	0	0	0	0

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>